

東灘区でお花を楽しむ

これから暖かくなり過ごしやすくなるこの季節。区内で見ることができるお花の鑑賞スポットをご紹介します。
東灘区のお花を見にお出かけしてみてください！



梅

東灘区のシンボルマークになっている梅の花。なかでも、岡本は昔から有名な梅見スポットです。岡本(梅林)公園では、白色や薄いピンク、濃いピンクなど、様々な種類の梅を楽しむことができます。



桜

春といえばやはり桜。石屋川や住吉川では、清流と桜の美しい組み合わせを見ることができます。岡本南公園(桜守公園)は、兵庫県の天然記念物や神戸市の市民の木に指定されている「ササベザクラ」を鑑賞できる人気の花見スポットです。



アーモンド

一見桜の花と似ているアーモンドの花。枝から直接花が咲くのが特徴です。区内では「水辺の遊歩道うおざき」にあるアーモンド並木が春に見頃を迎えます。

14面で
見頃もチェック



チューリップ

六甲アイランドで見ることができるたくさんのチューリップは神戸の名物です。春に花を咲かせる様々な色のチューリップが咲き乱れる光景は圧巻です。

14面で
イベントもチェック



バラ

5~6月、10~11月頃に見頃を迎えるバラ。本山街園では300を超える株のバラを見ることができます。赤色だけでなく、黄色やピンクなどの色鮮やかなバラが見ものです。

市民花壇コンクール

地域の方々が自主的に設置、育成、管理をしている市民花壇。その市民花壇制度を奨励し、花の育成管理技術の向上や地域環境美化・市民参加活動を広く周知することを目的として、年1回コンクールを行っています。2022年度は東灘区の御影にある「ガーデンハウス花壇」が優良賞に選出されました。

詳細はこちら

